



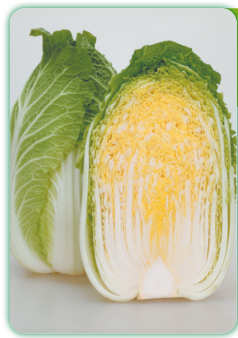
おすすめ品種紹介 第47回

全農 営農情報・システム推進室では、生産者にあらためて定番としておすすめしたい品種・新定番となりうる品種について、種苗会社にアンケートを実施いたしました。毎号、担い手生産者向けのおすすめ品種を品目ごとにご紹介いたします。

はくさい

はくさいは、アブラナ科野菜のひとつで、水分が約90%と多いですが、カルシウムやビタミンC、亜鉛、マグネシウム、ホウ素などの栄養素を豊富にバランスよく含んでいます。はくさいの中肋と呼ばれる白い部分にゴマ粒状の斑点ができることがあります。これは「ゴマ症」と呼ばれ、肥料の施用方法などが影響して細胞の中の「ポリフェノール類」が褐色に変わって蓄積する生理障害で、病気や虫食いではありません。見た目が悪く敬遠されがちですが、少しゴマがあるくらいのほうが甘くて美味しいといわれています。

幅広い耐病性で、つくりやすい品種



ことぶき
カネコ種苗(株)

一般地基準で12月どりの黄芯系中生品種。軟腐病やべと病、根こぶ病などの病気に幅広く耐病性を持つ。耐寒性に優れ、外葉の傷みが少ない。ゴマ症の発生が少なく、食味がよいので、鍋や漬物に適する。

栽培のポイント

極端な早まきは縦長の形状になる傾向がある。若苗を定植し定植後の根張りを促進する。肥料持ちがよく、水はけのよい圃場での栽培がおすすめ。各種病気については、レースや菌密度、環境により発生する可能性がある。

石灰欠乏症に強く肥大性に優れる



桜月
(株)サカタのタネ

春まきで、定植後63日程で収穫できる早生品種。外葉は濃緑で、頭部はよく包被する。晩抽性があり、結球性が安定している。石灰欠乏症によるチップバーンやアンコに非常に強い。幅広いレースの根こぶ耐病性を持つ。

栽培のポイント

収穫遅れはゴマ症や芯空洞症、球内の褪色の原因となる。肥大力があるため、肥料過多や5月以降の急激に温度が上昇する時期に芯空洞症が発生する場合がある。高品質のはくさいを出荷するためにも適期収穫を心がける。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
ことぶき	冬どり	一般地									○	▼		■
	冬どり	暖地	■								○	▼		■
桜月	春まき	寒冷地		○	▼			■	■ (加温育苗・トンネル)					
		一般地	▼	○	▼		■	■	■ (加温育苗・トンネル)	■ (保温育苗)				○
娃娃菜		高冷地			○	○	○	○	○	○	▼	■		
		寒冷地					○	▼	■	■	○	▼	■	■
		一般地	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	■		
		暖地					○	▼	■	■		○	▼	■

○：播種 ▼：定植 ■：収穫 〇：トンネル

●問い合わせ先 カネコ種苗(株) 種苗部 Tel.027-251-1611 (株)サカタのタネ お客様相談室 Tel.0570-00-8716 トキタ種苗(株) メディアシステム課 Tel.048-685-3190

鍋もサラダも美味しいベビー



娃娃菜
トキタ種苗(株)

外葉から芯まで軟らかい葉質。500mlの牛乳パックくらいの大きさに冷蔵庫に縦置きで保存できる。鍋物はもとより、サラダでも美味しく食べられる。店頭でカットせず、全形で販売して持ち帰りやすく、日持ちがよい。

栽培のポイント

普通のはくさいよりも密植（株間20cm、条間30cm）、減肥料で栽培する。収穫までの日数が短く、面積当たりの収量が増える。300～500gの軽さなので、収穫作業が容易である。

耐寒性、肥大性に優れる中晩生はくさい



すて黄90
丸種(株)

外葉は濃緑で耐寒性に優れ、球内色は濃黄色で、90日程度で収穫できる中晩生種。根こぶ病、べと病に強く、ゴマ症や縁腐れなどの生理障害の発生が少ない。一般平坦地では8月下旬～9月上旬播種、12月中旬～2月上旬収穫の栽培に適する。

栽培のポイント

初期生育を順調に進めるために、播種適期を外さないようにし、十分な葉枚数を確保する。収穫期までが長く、じっくりと生育が進むので、追肥を確実にし、肥料切れしないように注意する。

晩抽性で根こぶ病に強い黄芯系はくさい



黄力65日
中原採種場(株)

根こぶ病に耐性がある早生種。適期まきで、65日程度で収穫できる。晩抽性で芯の伸びが遅く、結球後も在圃性が高く、裂球が少ない。球重2.5kg程度で、胴張り、尻張りのよい砲弾型。ツヤのある鮮緑球で、芯部は濃黄色、葉質は柔らかく食味がよい。

栽培のポイント

排水良好で肥沃な圃場を選ぶ。冷涼な気候を好み、無理な早まきは避ける。育苗中の温度は10℃以上、最高25℃以下とし、生育適温は15～20℃。施肥は、基肥を2／3程度とし、結球開始前まで肥料切れしないよう追肥を行う。

根こぶ病に幅広い耐病性



祭典ネオ70
株渡辺採種場

根こぶ病に幅広い耐病性があり、播種後70日ぐらいで収穫できる秋どり用中早生品種。葉の各種病害に強く、また、芯腐れ症やゴマ症の発生少なく、栽培しやすい。肉質は歯切れがよく、キムチや漬物に好適である。

栽培のポイント

極端な早まきや遅まきは結球不良となりやすいので、作型表の播種期を励行する。根こぶ病激発圃場では、無理な連作を避け、アブラナ科以外の作物との輪作を行い、土壌菌密度を低減させる。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
黄力65日	秋～冬どり	一般地									○	○	▼	■
	年内～1月どり		■	■	■							○	○	▼
	春どり (温床育苗)	トンネル		○	▼	○	▼	■	■	■				
すて黄90	冬どり	一般地		■	■						○	○	▼	■
	冬どり	暖地	■	■	■	■					○	○	▼	
祭典ネオ70	秋どり	寒冷地							○	▼	○	▼	■	■
	秋どり	一般地								○	○	▼	■	■
	秋冬どり	暖地								○	○	▼	■	■

○：播種 ▼：定植 ■：収穫

中原採種場(株) 営業部 Tel.092-591-0310 丸種(株) 営業部 Tel.075-371-5101 (株)渡辺採種場 企画開発部 Tel.0229-32-2221